



東京都の八丈島で開催される全国離島交流中学生野球大会、通称「離島甲子園」に出場する鳥羽選抜チームの激励会が8月24日、市長室で行われました。

キャプテンの橋本陸さん(答志中3年)は「ひとつでも多く勝ちたい。応援よろしくお願いします」と語り、選抜チームのメンバー16人が大会での勝利へ向けて団結しました。

今年度は全国から過去最多の21チームが参加し、8月28日から3日間熱戦を繰り広げます。

がんばれ鳥羽選抜！離島甲子園



市では8月4日、市民文化会館大ホールで、宮城県南三陸町の佐藤仁町長を招いて地震防災講演会を開催しました。

昨年3月11日に東日本を襲った大震災から生還した佐藤町長の体験談は、会場に集まった市民の心に直接訴えかけるものでした。町長は、講演の最後に「自分の命、家族の命、まちをどう守るのかということが災害のときに重要である」と話し、この地域でも東海・東南海・南海地震などに備え、常日頃から災害に対する意識を持つことが大切であることを改めて認識するものでした。

この講演の様子は、9月23日(日)正午と午後7時、24日(月)午前10時から行政チャンネルとばにて放送します。

被災地からのメッセージ



市観光協会は8月18日、客船スタッフの案内による豪華客船「飛鳥Ⅱ」船内見学会を開催しました。

飛鳥Ⅱは長期の滞在でも充実した時間が過ごせるよう、約460室ある客室のほか、シアタールームやプール、サロン&スパなど世界最高水準の設備を備えており、見学者は優雅な船内の雰囲気とデッキから望む素晴らしい鳥羽の景色を楽しんでいました。

豪華客船「飛鳥Ⅱ」見学会



NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアースタッフセンターは8月11日～14日と18日、近鉄鳥羽駅構内とその周辺で、地元ボランティアが観光客のみなさんへの観光案内や車イス、ベビーカーの貸し出しなどを行う「駅ボラ」を実施しました。

志摩市からボランティアに参加した北井富美子さんは、「一緒に活動するボランティアのみなさんから元気を分けてもらっています。鳥羽は若いカタがすぐがんばっていますね。鳥羽の未来がとても楽しみです」と語ってくれました。

駅ボラでおもてなし